

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## たくさんの方とのつながりが紡いだ3年間

生まれも育ちも宮城で、宮城からほぼ出たことすらなかった根っから宮城っ子の私にとって、クリアでの3年間はまさに「life-changing」な体験でした。

### 多くの「同士」を得た本部勤務

1年目の本部勤務では、海外勤務に向けた知識や語学を学ぶかわら、優秀な他自治体職員の皆さんと、全国各地の派遣元を訪ねる「ふるさと旅」などを通じ、プライベートでも信じられないほど仲良くさせていただきました。背景は十人十色ですが国際関係の業務に当たる仲間として、皆さんとは海外赴任中だけでなく今でも頻繁にやり取り・情報交換をしています。

### 山あり谷あり（山多め）の ニューヨーク勤務

2年目に赴任したニューヨーク事務所では、JET プログラム経験者の会の支援、全国会議出席や宮城県事業の現地支援など、広範な業務を経験させていただきました。ここでは到底書き尽くすことはできませんが、アメリカという国のおおらかさ（適当さ？）に時に苦しめられ、時にやりがいや気付きを与えられる毎日でした。例えば



ノバイ市自治体研修

自治体研修で訪れたミシガン州ノバイ市役所では、市長はじめ皆さんに大いに歓迎され、滞在中フランクに接していただき、最後の夕食会で一緒にダンスをしたことが忘れられません。細やかな気配りのような日本の「おもてなし」とは一味違う、アメリカ流の飾らないホスピタリティあふれる歓迎は、とても新鮮な経験でした。

宮城県経済商工観光部国際政策課 主査 永澤 志紀

### 宮城に帰って

帰国後はコロナ禍でもどかしい状況が続いていますが、米国との交流事業・販路開拓支援事業の企画などで、クリアで得た経験や人脈が生きていると実感しています。特に、今年度は宮城県と米国デラウェア州の姉妹関係25周年に当たり、9月にコロナ禍後初の州政府訪問団の受け入れ、記念レセプションなど各種事業を担当しました。スムーズに訪問団をお迎えできたのは、派遣の際に州政府側と関係を築けたことや、ノバイでの経験のような下地があったからこそと考えています（残念ながら今回は一緒にダンスをする機会はありませんでしたが…）。



記念レセプションの様相

海外での勤務経験と3年間で生まれた多くの方々とのつながりは、私にとって大きな財産であり、今後も県の施策に生かしていきたいと考えていますが、同時に、私自身の人生を豊かなものにしてけると信じています。これからも全国の自治体の皆様方がクリアで各々に素晴らしい経験をされることを願ってやみません。

#### プロフィール・ほか

- 現所属：宮城県経済商工観光部国際政策課
- クリア在籍時の所属：  
2017年4月～2018年3月 本部総務部企画調査課  
2018年4月～2020年3月 ニューヨーク事務所